



**スターリンク施工で本当に考えること
アンテナの固定よりも大事なこと**



自己紹介 松本 昭彦

経歴

- 1974年生まれ
- 東京電機大学理工学部中退後、家電設備工事会社に入社
- クレーム処理責任者を経て2011年に独立
- 株式会社クラウンクラウンを設立
- 会社設立後、事業構想大学院大学にて事業構想修士課程を修了

モットー

- 高品質・明朗会計・適正価格



実績

- 2022年12月からスターリンク設置をはじめ現在400件以上の施工実績

<https://9696.co.jp>

2022年12月 最初の工事 熱海市のマンション事例



もともとスターリンク設置工事は赤字



スターリンク設置工事の原点



閉店していたコンビニエンスストア



給水支援

【お知らせ（千葉県内における入浴支援活動（陸自）について）】
9/13（金）15：00現在

9/13（金）	場所	時間（予定）
香取市	渡山川ふるさと公民館	17：00～22：00
八柱市	中央公民館	12：00～20：00
富津市	茨押山小学校	17：00～21：00
山形市	さんぷの防災洗センター	17：00～22：00
君津市	市民文化ホール	15：00～
船橋市	日清コミュニティーセンター	20：00～22：00
多古町	多古町コミュニティーセンター	15：00～

現在、上記以外にも随自部隊が各支援地域へ派遣中です。

入浴支援（陸自）



スマホ用充電ステーション

当社の工事スタイル

- テレビアンテナ工事とテレビの壁掛け工事を主軸
- アンテナ工事のノウハウはあったが、スターリンク工事は全く別物
- 自社社屋への設置も含め試行錯誤



工事の成否は『目的の共有』で決まる

— BtoB / BtoC で前提はまったく違う —



BtoB



BtoC



導入の目的・背景



何を優先するか
(安定性 / 速度 / コスト /
メンテナンス性 / 意匠)



制約条件
(建物・管理・工期)



仕上がりイメージ
の共有

工事時間の大半は『配線』



ケースバイケースの具体例： 岐阜大学の事例



屋上アンテナ設置



屋内ケーブル配線



機器ボックス設置



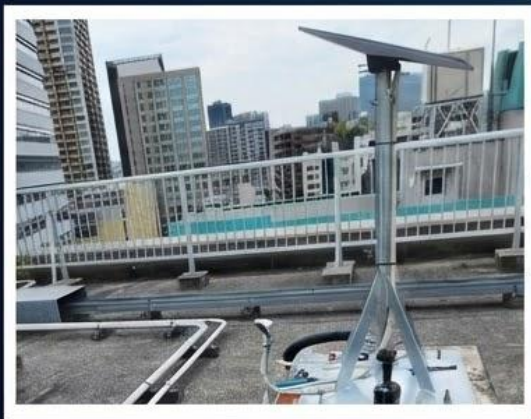
天井裏配線作業

マンションの事例



使われていないアナログアンテナを撤去し、残った
マストにスターリンクを設置

都内のビル事例



1. 屋上へのアンテナ設置



2. 天井裏の配線工事



3. 室内での利用環境

穴あけが必要な場合の穴の処理

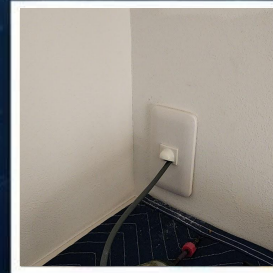
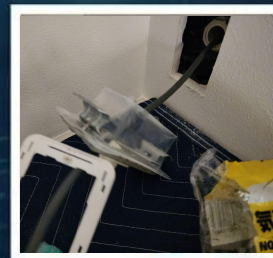
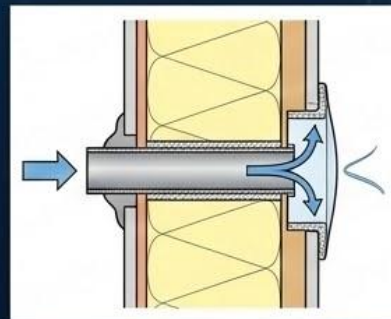
事例1：断熱材を保護する工法

1. 断熱材をめくり、穴あけ
2. スリーブ（貫通パイプ）挿入
3. 外側と通線後の隙間をパテ埋め
4. 断熱材を気密テープで補修



事例2：断熱材を貫通する工法

1. 断熱材に切れ目を入れ、穴あけ
2. スリーブ挿入、気密テープで補修
3. 室外はパテ埋め
4. 室内はコンセントプレートと防気カバーで仕上げ



有事の際にスターリンクを「持ち運びたい」という要望について

職員（素人）が簡単に着脱できること



簡単に持ち運べるが、設置や調整が不確実になる可能性。

持ち運びたいなら別の機体を用意すべき

いざと言う時に確実に使えること



確実な通信を確保できるが、専門的な設置が必要で移動が困難。

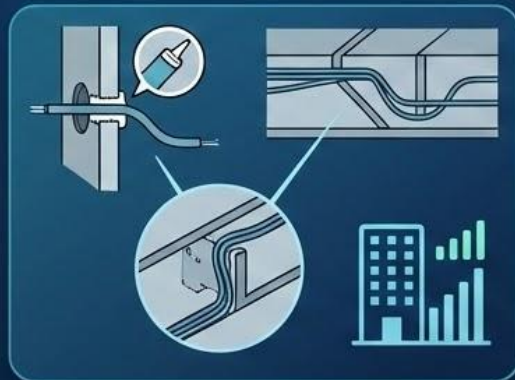
ほとんどの場合トレードオフ。
持ち運びたいなら別の機体を用意すべき

まとめ

スターリンク工事は
アンテナ固定だけの話ではありません



配線、貫通、建物条件が
品質と運用を左右します



設置できることと、
長く使えることは別です



持ち運びたいなら別の機体を用意すべき

今日の事例が、設計や発注時の
判断材料として何か一つでも残れば幸いです。



ご清聴ありがとうございました

BCP
BACKUP

フォローお願いします

<https://9696.co.jp>

<https://x.com/9696cojp>